



Prosperity

共栄

一人でも多くの生活者に素晴らしい今日を届けます。

Materiality	 日々の暮らしをより美しく豊かに彩るイノベーション
Initiative	ブランドを通じたときめき体験による唯一無二の価値提供 22
	多様な価値を創造するイノベーション 23
Materiality	 コミュニティのウェルビーイング向上
Initiative	コミュニティへの貢献活動や寄付 25



Initiative

ブランドを通じた ときめき体験による 唯一無二の価値提供

基本方針

ファイントウデイグループは、単なる日用品ではなく、お客さまの毎日に寄り添い、心を弾ませ、気持ちを明るく前向きにする“ときめき体験”を届けるブランドの開発に取り組んでいます。その基盤にあるのは、製品そのものの品質です。品質には安全性や機能も含まれており、お客さまが毎日手に取り、肌に直接触れる製品だからこそ、科学的・技術的な知見に基づき、それらを高い水準で追求しています。

同時に、製品をお使いいただくことで感じる心地よさや自信、そして日々の暮らしをより豊かに彩るポジティブな気持ちの変化といった“情緒的な価値”を高めることが、ブランドへの信頼と愛着を生み、「唯一無二」の価値提供につながると考えています。

こうした考えのもと、当社グループはお客さまに製品の価値を実際に体感していただくためのきっかけづくりに注力。各製品・ブランドを展開する国・地域ごとのお客さまの多様な文化や生活スタイルに合わせたプロモーション活動を積極的に展開し、製品の魅力を実感していただく機会の拡大を図っています。

今後も当社グループは、確かな品質を土台としながら、お客さまとの多様な接点を創出し、ときめき体験を通じたブランド価値の更なる向

上に取り組んでいきます。

お客さまとの接点の拡大

新地域展開

北米など、すでに需要の存在が確認されている有望市場に対し、グループとして製品を安定的に提供できる体制の整備を進めていきます。その上で、各国・地域の特性やお客さまのニーズを踏まえた適切なマーケティング投資を行い、ブランド認知の向上を図りながら、着実に事業展開を推進していきます。これにより、中長期的な売上成長と収益性の向上を実現し、持続的に事業を拡大していきます。

高校サッカー部とのオフィシャルスポンサー契約

ファイントウデイは、2025年4月より、神奈川県横浜市にある桐蔭学園高等学校の男子・女子サッカー部とオフィシャルスポンサー契約を締結しました。

今回の契約によって男女両チームのユニフォームには「finetoday」およびボディケアブランド「SEA BREEZE」のロゴを掲出。大きな目標に向かって挑戦を続ける若きアスリートを支援するとともに、スポーツを通じて地域・社会との接点を広げ、より多くのお客さまにブランドを体感していただく機会の創出を目指しています。



大学生向けトータルコーディネート講座

ファイントウデイは、「まだ気付いていない個々の魅力を引き出し、自信を持って自分らしく前に進むことを応援したい」という思いのもと、青山商事(株)と協業し、2026年2月に大学生を対象に「肌×服でつくるトータルコーディネート講座」を実施しました。

この講座では、自社のメンズビューティーケアブランド「uno」と同社のスーツブランド「SUIT SQUARE」のコラボレーションによって、ビジネスウェアの着こなしや、TPOに応じたスキンケア・メイクを講師が実践を交えて紹介。「身だしなみを整えること＝自信を持って社会に出るための準備」という価値を伝えました。こうした実践的な体験機会の提供を通じて、お客さまとブランドとの接点を増やすとともに、製品やブランドの魅力に触れていただく機会の拡大につなげています。





Initiative

多様な価値を創造する イノベーション

基本方針

ファイントゥデイグループは、お客さまの多様なニーズに応える製品・サービスを持続的に提供するため、科学的・技術的な裏付けに基づくイノベーションに取り組んでいます。これにより、顕在化したニーズへの対応に加え、お客さま自身もまだ気付いていない潜在的なニーズを捉え、“やみつき品質 No.1” のプロダクトを通じて感動を届けることを目指しています。更に、取り組みを支える基盤として、継続的な投資により技術力と研究開発体制を強化し、人々の暮らしをより豊かにする製品・サービスの開発を推進しています。

具体的には、R&D 本部内に「ブランド価値開発研究」と「基礎基盤研究」を設置しています。ブランド価値開発研究では、製品の品質の向上に加え、使用時に体感できる情緒的価値の創出にも取り組み、お客さまに継続的に選ばれる製品開発を進めています。一方、基礎基盤研究では、非連続なイノベーションの実現を視野に、外部パートナーの革新的な技術を戦略的に取り込むオープンイノベーションを推進し、独自の視点から新たな価値創造に挑戦しています。

また、当社グループはアジア11の国・地域で事業を展開しており、それぞれの文化や生活習慣に根差したニーズへの対応を重視しています。

このため、日本で培った技術基盤に加え、外部連携による知の融合や製販技一体での価値最大化を通じた「グローバル」なイノベーションを推進し、多様なお客さまに新たな感動を届けていきます。

日本発の研究開発による価値創出

顔の印象を評価する新手法の開発

近年、男性の間でも美容への関心が高まるとともに、自分らしさを重視する意識が広がる一方、過度な変化への抵抗感や、理想とする顔の印象は言語化が難しいという課題もありました。

こうした背景を踏まえ、AI・AR技術を活用し、顔の各パーツを自在に変化させながら印象を評価できる手法を開発しました。この手法により、「理想」と「カッコいい」の違いや、自己視点と他者視点による印象の差異を可視化することができます。今後はこれらの知見を活かし、多様な価値観に寄り添った製品・サービスを開発していきます。



AIで生成した男性の顔をシミュレーションツールで特徴的に変化したイメージ画像

コンプレックス技術

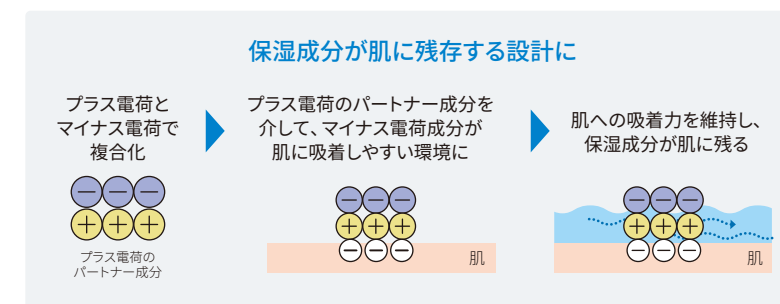
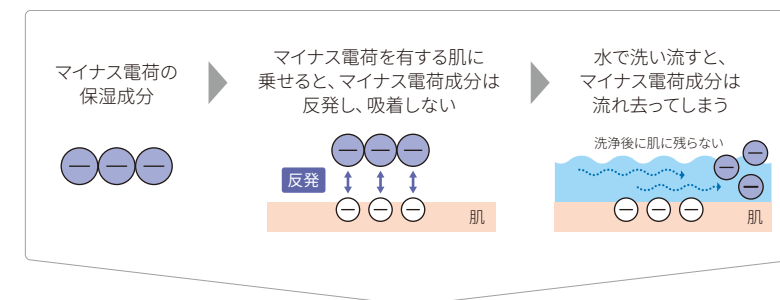
洗顔は毎日行うスキンケアである一方、洗顔料のうるおい成分が洗い流されやすく、機能にくいという課題がありました。また、エアコン使用の増加による室内外の湿度変化も肌の負担となっています。

そこで研究を重ねたコンプレックス技術※により、「洗ってもうるおいが残る、スキンケアができる洗顔料」を開発しました。更に、この技術は泡立ちの向上にも寄与し、使用時の心地よさといった体験価値の向上にもつながっています。

※ 複数の原料を組み合わせ、単独では得られない新たな働きを生み出す技術。



「SENKA」に採用したコンプレックス技術



⊖ マイナス電荷 ⊕ プラス電荷

グローバル市場における価値展開

KUYURA 美肌沐浴露(和风茶庭)／現地ニーズに応えた商品企画

かつて日本でも販売していたKUYURA(中国名:可悠然)は、現在は中国専売ブランドとして展開しています。この美肌沐浴露(和风茶庭)は、中国の現地メンバーが企画・提案した、ウッディな香りの製品です。自然派志向の高まりという現地のトレンドを捉え、ニーズにフレキシブルに対応するため現地のパートナー企業に生産を委託し、企画から発売までを短期間で実現したことで、中国におけるヒット製品となりました。



TSUBAKI Premium EX Hair Fall ／ヘアフォール対策

東アジア、東南アジア、中国地域で顕在化する「切れ毛(ヘアフォール)」の悩みに着目し、TSUBAKI Premium EX Hair Fallを開発しました。地域の水質や生活習慣を踏まえ、髪と頭皮を同時にケアする処方設計を採用。TSUBAKIが培ってきた艶髪価値と現地ニーズを融合させた、地域専用のヘアケア製品として展開しています。





コミュニティへの貢献活動や寄付

基本方針

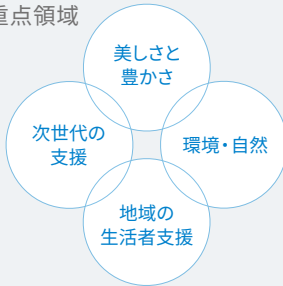
ファイントゥデイグループは、「コミュニティのウェルビーイング向上」をマテリアリティの一つに掲げ、コミュニティとの協働による価値創出に

ファイントゥデイグループ 社会貢献方針

私たちは、「世界中の誰もが、素晴らしい一日を紡ぎ、いつまでも美しく、豊かな人生を送れるようにすること」というパーパスを掲げ、その実現に向けて活動しています。

社会貢献活動においても、常にパーパスについて考え、パーパスおよび各ブランドが掲げるブランドパーパス実現に貢献することを目的として、コミュニティを支援します。

重点領域



- 活動検討・実施判断の視点
- 重点領域の活動を通じて、パーパスまたはブランドパーパス実現に貢献する。
- 社員がバリューを実践する活動である。
- 社会インパクトと企業価値を両立する視点を持つ。
- NPO/NGOを含むさまざまなステークホルダーと協働し、それぞれの強みを生かす。
- 社員が持つスキルやノウハウの提供を含む、経営資源を有効に活用する。

取り組んでいます。

2023年に定めた「社会貢献方針」では、「美しさと豊かさ」「環境・自然」「次世代の支援」「地域の生活者支援」の4つを重点領域に設定しています。この重点領域を中心に、継続的な活動を通じて社会インパクトの創出と企業価値の向上を図っています。

推進体制

ファイントゥデイグループは、社会貢献方針に沿った活動を積極的に推進するために、その実行を担う「社会貢献ワーキンググループ(WG)」を設置しています。

また、社会貢献活動の推進に向けて、各海外拠点との意見交換の場を設け、今後の活動方針について対話を重ねています。更に、海外拠点における自発的な社会貢献の取り組みについては、全従業員が参加する「グローバル会議」で共有し、グループ全体での理解と連携を深めています。

Web サイト **社会貢献活動**
<https://www.finetoday.com/jp/sustainability/social/stakeholders/>

社会貢献活動事例

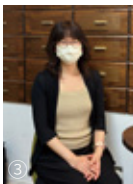
重点領域 美しさと豊かさ

「フィーノ」の髪からつながる支援の輪

医療用ウィッグを取り巻く全ての方の「自分らしくありたい」と願う想いに寄り添うこと、その想いをカタチにすることを目指して、ヘアケアブランド「フィーノ」を起点とした活動【HAIR TOUCH YOU のばせば届く。】を2022年から展開しています。NPO法人「全国福祉理美容師養成協会」（ふくりび）とのパートナーシップのもと、31cmという規定以外はあるような髪でも受け付ける「fino ウィッグBank」を立ち上げヘアドネーション毛を

集めるとともに、その中でもフルウィッグには活かすことが難しい髪を、帽子に着用できる部分用ウィッグとして活用。更に、「正しく知る」ことを“ちょっといいこと”の実践につながる第一歩と捉え、小学生の親子を対象に医療用ウィッグに関するワークショップを開催するなど、さまざまな活動を行っています。

また、2024年からは認定NPO法人J.POSHが推進している「ピンクリボン活動」に協賛し、乳がんの早期発見の大切さを伝える取り組みを支援。数量限定で販売したピンク色のフィーノ商品の売上の一部を、ふくりびに寄付しています。あわせて、ウィッグBankに寄せられた髪は、医療用ウィッグの製作・寄贈に役立てていただいています。ピンクリボンへの協賛は日本にとどまらず、シンガポール、マレーシア、フィリピン、台湾でも展開しています。各拠点において、ピンクリボン活動を通じた寄付や啓発活動を実施し、支援の輪を広げています。



- ① ドネーションキット
- ② ドネーション毛で出来上がった医療用ウィッグ
- ③ 似合わせカット後ご着用



フィリピン 台湾 シンガポール マレーシア

重点領域 環境・自然

現地の環境団体との植樹プロジェクト

Fine Today Malaysia Sdn. Bhd. は、2023年から現地の環境保護団体と連携してマングローブの植樹プロジェクトを推進しています。この活動は、セランゴール州沿岸の生態系回復や気候変動への対応を通じて、持続可能な社会の実現と地域社会のレジリエンス強化に貢献することを目的に実施しているものです。

2025年9月には、世界河川デーに合わせて、現地団体と共同で「Tree For Us」プログラムを実施。社員が主体的に参加し、約700本のマングローブの苗木を植樹するとともに、環境教育も実施しました。今後も、同社はこれらの取り組みを通して、地域の団体とともに環境保全とコミュニティへの貢献を継続していきます。



重点領域 次世代の支援

学校へのスポーツ用品とパーソナルケア用品の寄付

Shanghai FTS Cosmetics Co., Ltd. では、次世代を担う子どもたちの健全な成長を支援する取り組みとして、「ファインライフプロジェクト」を推進しています。2025年は深圳壹基金公益基金会 (One Foundation) と連携し、スポーツと公共福祉を結びつけた支援活動を実施しました。社員ボランティア7名が参加し、中国の河南省および甘粛省の農村部にある7校へ、10万元相当(約200万円)のスポーツ用品と1,000セットのパーソナルケア用品を寄贈しました。

これらの支援を通じて、4,400名以上の生徒・教職員を対象に、運動やパーソナルケアの大切さを伝える機会を提供し、地域と協働しながら子どもたちの心身の健やかな発達を後押ししています。



重点領域 地域の生活者支援

山火災被災地への生活用品の寄付

Fine Today Korea Co., Ltd. は、大規模な山火事に見舞われた韓国・慶尚北道の被災地を支援するため、2025年4月、同国の社会福祉共同募金会へ救援物資を寄付しました。

寄付した物資は、シャンプーやボディウォッシュなどの生活用品3,000点で、総額約4,000万ウォン(約440万円)にのぼります。これらの物資は盈徳(ヨンドク)福祉財団を通じて、住居を失うなど甚大な被害を受けた地域住民へ配布されました。

